



太陽ホールディングス

<https://www.taiyo-hd.co.jp>

株式についてのご案内	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 取 引 所	株式会社東京証券取引所 プライム市場
公 告 掲 載 URL	https://www.taiyo-hd.co.jp (但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ		
株式に関する各種お手続きについて		
●特別口座に記録された株式		
お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取（買増）請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定（*）	特 別 口 座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株 主 名 簿 管 理 人	
（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。		
●証券会社等の口座に記録された株式		
お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

株主様アンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を
進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示
<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード ●●●●●

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

(2201)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

TAIYO HOLDINGS REPORT 2022

第76期 決算のご報告

2021年4月1日～2022年3月31日



経営理念と経営基本方針

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、
革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノを
グローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

経営基本方針

1

我がグループは利益を生み出し企業価値を高めることで、お客様・地域社会・株主及び従業員の幸福と繁栄に寄与します。

2

我がグループは経営理念の達成にあたり法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

3

我がグループはグローバル体制を活用し、常に優れた製品とサービスの提供を行います。

4

我がグループは常に従業員が挑戦し成長できる機会を生み出し、自ら目標を立て、その実現に向けて高い志を持つ集団を目指します。

5

我がグループは「スピード＆コミュニケーション」をキーワードに、グループ内各社の連携と全員のチームワークを活性化することで、企業総合力を高めます。

6

我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を目指します。

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第76期における世界経済は、2020年1月頃から拡大した新型コロナウイルス感染症やロシア連邦・ウクライナ情勢など、経済政策に関する不透明感が高まる状況が継続したことにより停滞し、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、電子機器用部材事業においては、リジッド基板用部材についてはディスプレイ関連部材、車載関連部材など多くの製品において好調に推移し、半導体パッケージ基板用部材については、世界的な半導体需要の増加により高水準で推移し、ともに販売数量は前年同期を上回りました。

また、医療・医薬品事業においては、医療用医薬品製造販売については、長期収載品4製品の製造販売承認の移管が完了したことや、一部の製品において他社後発医薬品が供給停止となった影響を受け好調に推移しましたが、医療用医薬品受託製造については、感染症関連等の一部製品で受託数量の減少が続いたことなどから低調に推移しました。

その結果、当期の売上高、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期を上回る結果となりました。

当社は、現金による株主への利益還元を最重要政策の一つと位置付けており、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施しており株主資本配当率を目標指標とし、



代表取締役社長
佐藤 英志

「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上を維持すること」を目標としております。

上記の方針に基づき、第76期の期末配当金につきましては、1株あたり37円00銭*とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年6月

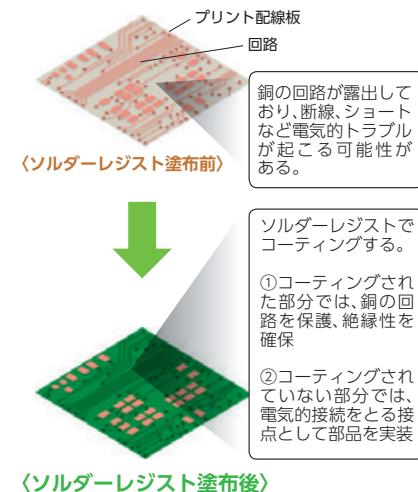
※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。株式分割を考慮しない場合の2022年3月期の期末配当金は74円00銭、年間配当金は139円10銭となります。

TAIYOの主力製品の特徴

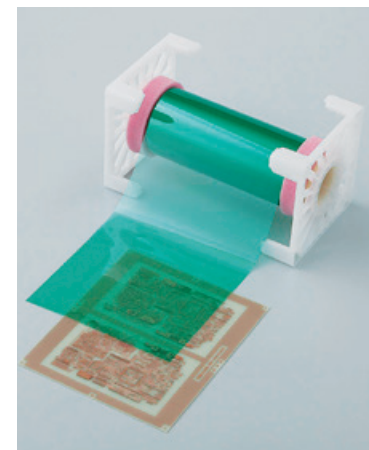
ソルダーレジストの役割

スマートフォンなどのデジタル家電や、車載電子機器などのエレクトロニクス製品にはプリント配線板が用いられています。当社グループの主力製品であるソルダーレジストは、このプリント配線板の回路表面を覆うことで外部環境から保護し、長期間の安定した使用を可能にします。

- 1 **不要部分へのはんだの付着防止**
プリント配線板に各種の部品が実装される際に、電気的接続をとる接点以外にはんだが付着しショートが起きるのを防止する役割があります。
- 2 **ほこり、熱、湿気などから回路を保護**
ほこり、熱、湿気などの外部環境から回路を保護します。これによって電子機器は長期間にわたり安定した動作が可能になります。
- 3 **回路間の電気絶縁性の維持**
電子機器の小型化に伴い、一般基板の回路の幅は50～150μm程度、半導体パッケージ用基板ではさらに細線化しています。ソルダーレジストは回路間の絶縁性を維持し、ショートを防止します。



ドライフィルム型ソルダーレジスト



半導体パッケージ用基板や、高い信頼性が求められる車載用の一部の電子機器用プリント配線板に使用されています。半導体の発する高温に長期間耐え、品質劣化が起きにくいことや反りが少ないなどの特徴があります。

また、ソルダーレジストの厚みのバラつきによる半導体の実装への影響をおさえるため、あらかじめフィルム状に加工し厚みを均一にしています。

特徴

- ・表面平滑性に優れている（凸凹が少ない）
- ・含有溶剤が少ないため、顧客での使用環境に優しい
- ・回路間の気泡が少ないため品質が向上する
- ・使用時の工程が少ないため生産性が良い

主な用途


パソコン


自動車


薄型テレビ


スマートフォン

TAIYOのQ&A

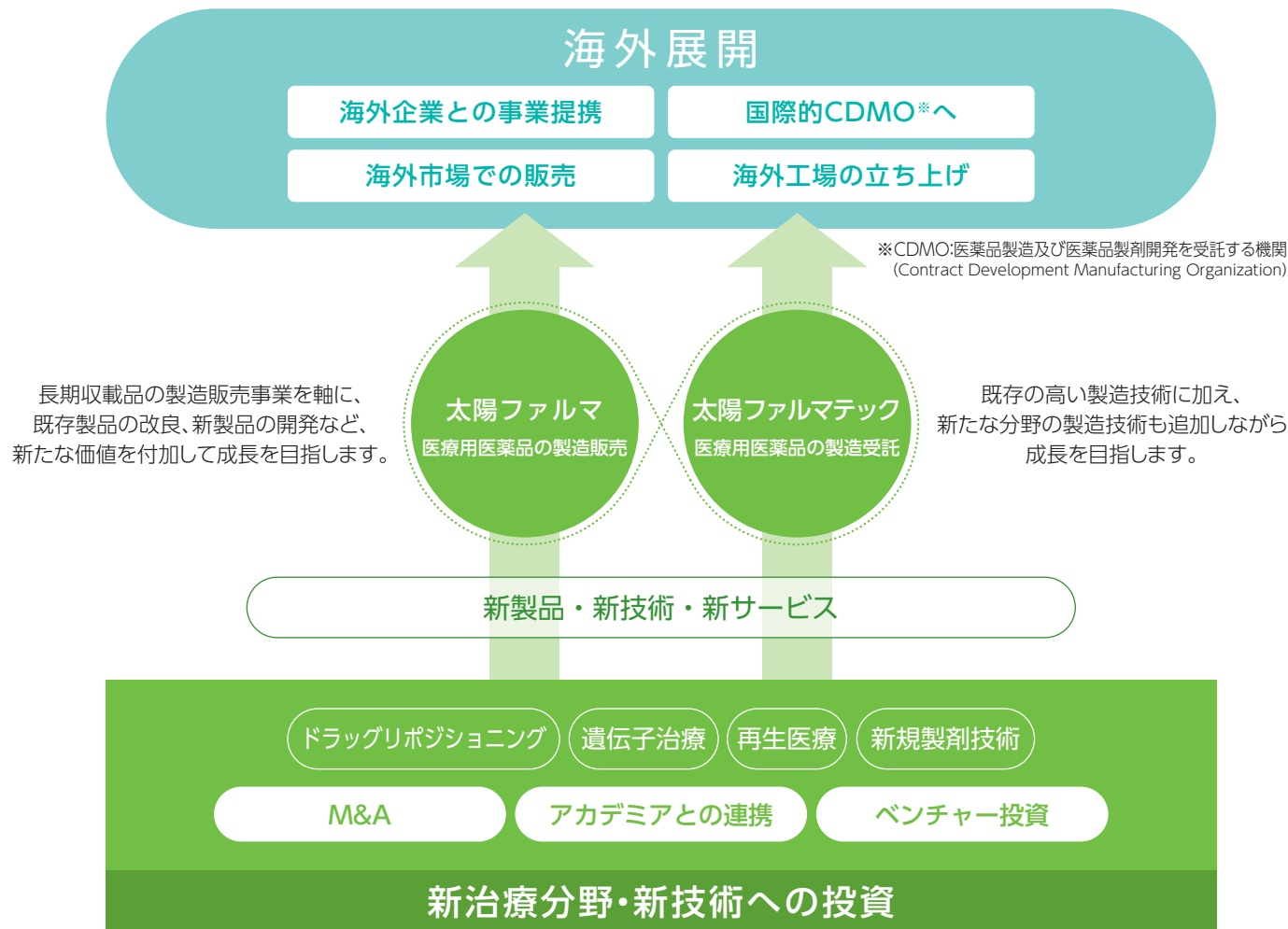
- Q** 太陽HDグループはどんなインキを扱っているのですか？
A 一般的な印刷用のインキやペイント用のインキではありません。当社グループでは電子機器の心臓部の1つである **プリント配線板を保護するインキ** を扱っており、そのインキをソルダーレジストといいます。
One Point ソルダーレジストは緑色に限らず、様々な色があります。
- Q** ソルダーレジストはどのような電子機器に使用されていますか？
A ソルダーレジストで保護されたプリント配線板は、スマートフォンやスマートウォッチなどのデジタル家電や車載電子機器など世の中の **あらゆる電子機器** に使用されています。
One Point 当社グループのソルダーレジストは **トップクラスの世界シェア** であり、**全世界で欠かさない製品** といえます。
- Q** ソルダーレジストはなぜ必要なのですか？ソルダーレジストを使用しないとどうなりますか？
A **ソルダーレジストを使用しないと**、ショートが起きるなど電子機器本体の **故障の原因** となります。ソルダーレジストは耐熱性や耐薬品性に優れており、プリント配線板をほこりや熱、湿気から保護しています。また、電気的なトラブルを防ぐ絶縁体としての役割を果たしています。
One Point 当社グループのソルダーレジストはあらゆる **電子機器が正常に安定して機能するために必要な製品** です。**電子機器の性能向上にはソルダーレジストの技術革新が必要** であり、トップメーカーである当社グループにとっての責務です。



TAIYOの医療・医薬品事業

「我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を目指します。」という経営基本方針を基に、総合化学企業へと飛躍するため、医療・医薬品事業における積極的な事業展開を行っております。

医療・医薬品事業のロードマップ



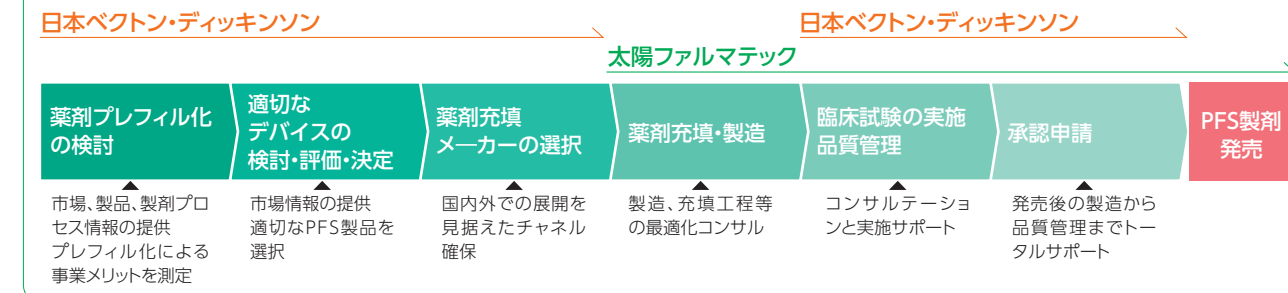
✦太陽ファルマテックと日本ベクトン・ディッキンソンが業務提携

太陽ファルマテック株式会社と日本ベクトン・ディッキンソン株式会社は、両社で製薬会社のプレフィルドシリンジ製剤※1 (PFS製剤) 開発をサポートする業務提携を締結し、2022年3月より「PFS製剤化トータルサポートサービス」を提供開始しました。

「PFS製剤化トータルサポートサービス」は、製薬会社のプレフィル化を前提とした新薬の開発や、既存製剤のPFSへの剤形変更、グローバル市場への展開支援に関して、デバイスの開発から薬剤の充填・製造、臨床試験や販売後の支援までワンストップでサポートするサービスです。本サービスでは、PFS製剤の製造技術と経験を持つ太陽ファルマテックが、薬剤充填・組付けなどの製造を受託し、製薬会社のプレフィル用製剤の製造ニーズに応えます。

※1 製剤名や目盛り、使用期限などが明記されたシリンジに薬剤が充填されており、医療現場ですぐに使用することができる薬剤充填済み注射器です。

製薬会社の開発プロセスと両社の役割



✦太陽ファルマの製品ラインナップ拡充と効能・効果等追加の承認取得

長期収載品等の承継完了

2020年4月にアストラゼネカ株式会社より譲受しました4製品について、2021年7月に「テノーミン®、インデラル®」、2021年12月1日に「オメプラール®※2、セロケン®」の承継・販売移管が完了し、4製品すべてについて承継・販売移管が完了しました。

※2 オメプラール®注は除く

製品名	薬効分類
1 インデラル®	高血圧・狭心症・不整脈・片頭痛治療剤・ベータ遮断性不整脈・狭心症治療剤
2 オメプラール®	プロトンポンプ・インヒビター
3 セロケン®	高血圧・狭心症・不整脈治療剤、徐放性高血圧治療剤
4 テノーミン®	心臓選択制β遮断剤

カイトリル®注及び点滴静注バッグの効能効果等追加

5-HT₃受容体拮抗型制吐剤「カイトリル®注1mg、同注3mg、同点滴静注バッグ3mg/50mL、同点滴静注バッグ 3mg/100mL」[一般名:グラニセトロン塩酸塩] (「カイトリル®注及び点滴静注バッグ」) について、2022年2月25日に厚生労働省より「術後の消化器症状 (悪心、嘔吐)」の効能又は効果、用法及び用量追加の承認を取得しました。

？「長期収載品」とは

当社では特許期間もしくは再審査期間が終了しており、後発医薬品(ジェネリック)の販売が可能となっている先発品としています。

「自律型人材」にあふれる組織を目指した取り組み

社会やビジネス環境の目まぐるしい変化の中、経営理念を実現するため、自らの意志で未来を描き、物事の本質をとらえた判断と周囲を巻き込んだ業務遂行ができる人材、すなわち自律型人材を個人と組織の両面から育成すべく取り組みを行っています。

個人の能力開発

新入社員には、一次産業の体験から働く意義を考える合宿研修や、経営陣へ新規事業を提言する半年間のプロジェクトを実施。若手社員には、効率的・効果的に業務を行うための研修、中堅社員以上には、リーダーシップ及び経営視点を育てる研修など、各階層においてそれぞれの役割を主体的に遂行するための様々な研修を実施しています。



新入社員の合宿研修@MORIUMIUS

組織のカルチャーシフト

2019年より「未来共創イニシアティブ」を実施しています。「未来共創イニシアティブ」は、個人のグロースマインドセットの獲得、組織の関係・思考・行動の質の向上を目指した取り組みと太陽バリューを一人ひとりが体現するための取り組みに分かれます。いずれも対話を重視し、変化に柔軟に対応できる自律型人材が育つ企業文化への変容を目指した取り組みです。



未来共創イニシアティブ「グループダイアログ」@本店嵐山食堂

未来共創イニシアティブの概要



- 社会の変化
- 事業の拡大・多角化
- 人材の増加・多様化



- 自律型人材にあふれる組織へのカルチャーシフト
- 太陽らしさの共有と個人の意識・行動の変容

未来共創イニシアティブ

太陽ホールディングスが目指す「仕事との向き合い方・マネジメントのあり方」を探求し、『自律型人材にあふれる組織』へと変容するための取り組み

未来共創ミーティング (職場ごとの取り組み)

未来共創ミーティング (2019/6～継続中)

- ▶ 各職場で、実践の中から個人と組織の変容を生み出す



シェアリングサミット (2019/11、2020/12)

- ▶ 未来共創ミーティングの活動で起こった変化や成果をグループ全体で共有する場



太陽バリュー創造と具現化 (組織横断の取り組み)

経営陣ダイアログセッション (2019/9～2021/6)

- ▶ グループダイアログで出た言葉を紡ぎ、ブラッシュアップしながら、太陽バリューを検討



グループダイアログ (2019/10～2020/12)

- ▶ グループ各社から職種や役割が異なる従業員が集まり、太陽バリューの創造につながる出来事や思いを抽出



具現化プロセス (2021/11～継続中)

- ▶ 太陽バリューについて各々の理解を深め、仕事を通じた体現を追及していく機会を幅広く設ける



2019年度

パイロット
スタート

2020年度

国内4社へ
拡大

2021年度

国内6社で
任意実施

2019年度～

経営陣と従業員が
共に対話

2021年10月

太陽バリュー
リリース

2021年11月～

具現化
プロセス開始

第76期の事業概況

第76期の概況

電子機器用部材事業においては、リジッド基板用部材は、前年同期と比較し、ディスプレイ関連部材、車載関連部材、スマートフォン関連部材等、多くの製品において好調に推移しました。特に、ディスプレイ関連部材はMini LEDディスプレイ向け新製品の高反射白色ドライフィルムが採用され、販売数量の拡大に大きく貢献しました。また、半導体パッケージ基板用部材は、第5世代移動通信システム(5G)向けをはじめとするデータセンター・インフラ向け設備投資の増加、電子機器の持続的な性能進化や機能付与等が半導体市場の成長を高水準で牽引し、好調に推移しました。

医療・医薬品事業においては、医療用医薬品の製造販売事業は、薬価改定の影響があったものの、アストラゼネカPLCの子会社であるアストラゼネカ株式会社より譲り受けた長期収載品4製品の製造販売承認の移管が完了したことや、一部の製品において他社後発医薬品が供給停止となった影響を受け、好調に推移しました。また、医療用医薬品の製造受託事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制に伴う行動の変化により感染症関連等の一部製品で受託数量の減少が続いたことや、顧客の生産計画変更に伴う生産調整の影響により低調に推移しました。

これらの結果、グループ連結の売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円)
第77期見通し	109,400	19,000	18,800	12,800	227.96
第76期実績	97,966	17,958	18,062	11,803	209.13

※第77期見通しは、期中平均為替レートを1ドル当たり120.0円として算定しています。

第77期業績の見通し

今後の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により世界的にリモートワークが定着した第76期と比較し、PCやスマートフォンをはじめとする電子機器の普及が一巡し、最終需要が減速することや、新型コロナウイルスの新たな変異種による感染再拡大やロシア連邦・ウクライナ情勢等により、原材料・輸送費の高騰や為替の円安基調の継続が予想されます。

一方で、ワクチン接種による新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束や各国の財政刺激策への期待が高まること、半導体への強い需要が継続することが予想されます。

このように不透明な状態が続くものの、第77期の業績予想は増収、増益を想定しています。

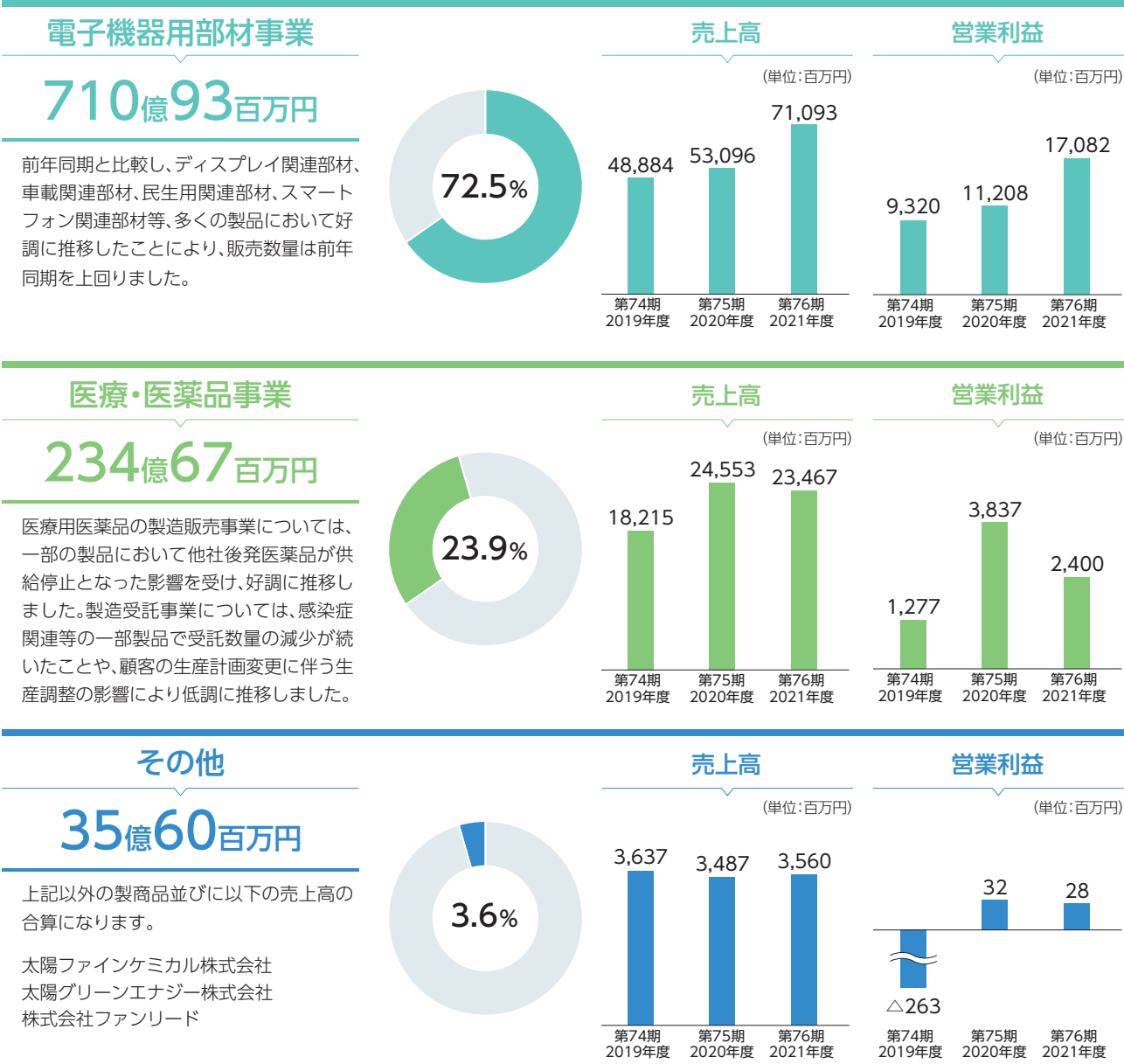


IRサイトでさらに詳しく
IRサイトでは、さらに詳しい決算情報をご覧になれます。



<https://www.taiyo-hd.co.jp/jp/investor/>

事業セグメントの概要



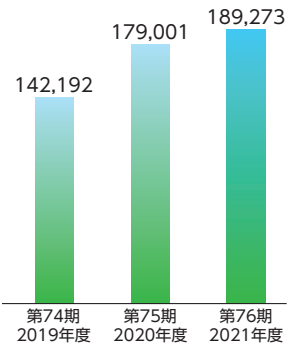
連結決算概要

連結貸借対照表(要旨)

科	目	当連結会計年度末 (2022年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2021年3月31日現在)
資産の部			
流動資産			
現金及び預金		98,766	92,937
受取手形及び売掛金		51,557	54,705
たな卸資産		27,558	22,527
その他		16,384	13,449
貸倒引当金		3,397	2,332
固定資産		△131	△77
有形固定資産		90,507	86,063
建物及び構築物		52,255	46,348
機械装置及び運搬具		20,567	16,458
土地		10,450	11,131
その他		13,969	11,827
無形固定資産		7,267	6,931
投資その他の資産		32,058	34,949
投資有価証券・ 関係会社株式・ 関係会社出資金		6,192	4,765
その他		4,014	2,932
貸倒引当金		2,352	2,004
資産合計		△174	△171
		189,273	179,001

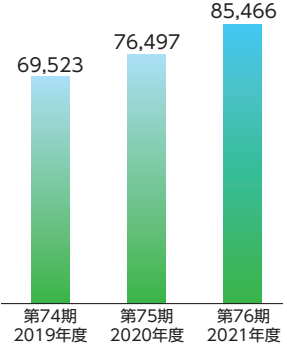
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



Point

1 有形固定資産

大阪物流センターの譲受等による増加

2 長期借入金

借入金の返済を行ったことによる減少

(単位:百万円)

科	目	当連結会計年度末 (2022年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2021年3月31日現在)
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金		49,403	38,107
賞与引当金		9,255	7,907
その他		1,308	907
固定負債		38,838	29,292
長期借入金		54,403	64,397
退職給付に係る負債		48,383	59,333
その他		116	150
負債合計		5,903	4,913
純資産の部		103,806	102,504
株主資本		79,916	74,184
資本金		9,612	9,499
資本剰余金		14,734	14,985
利益剰余金		60,321	53,065
自己株式		△4,752	△3,365
その他の包括利益累計額		5,549	1,954
その他有価証券評価差額金		321	203
為替換算調整勘定		5,187	1,751
退職給付に係る調整累計額		40	△0
非支配株主持分		1	357
純資産合計		85,466	76,497
負債・純資産合計		189,273	179,001

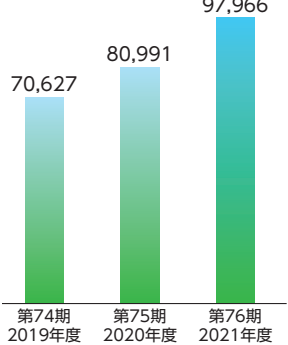
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科	目	当連結会計年度 (2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで)	前連結会計年度 (2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで)
売上高			
売上高		97,966	80,991
売上原価		55,099	46,125
売上総利益		42,866	34,865
販売費及び一般管理費		24,908	20,922
営業利益		17,958	13,943
営業外収益		890	393
営業外費用		786	517
経常利益		18,062	13,819
特別利益		-	-
特別損失		1,102	445
税金等調整前当期純利益		16,959	13,374
法人税、住民税及び事業税		4,564	3,031
法人税等調整額		396	745
当期純利益		11,998	9,597
非支配株主に帰属する当期純利益		194	67
親会社株主に帰属する当期純利益		11,803	9,529

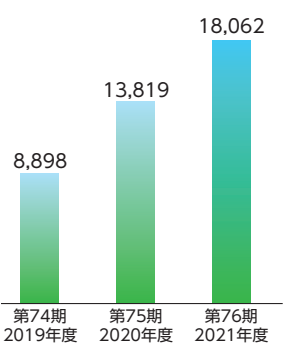
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



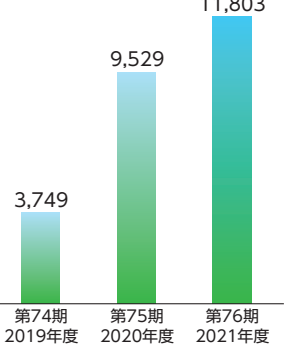
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科	目	当連結会計年度 (2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで)	前連結会計年度 (2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー			
営業活動による キャッシュ・フロー		18,308	16,312
投資活動による キャッシュ・フロー			
投資活動による キャッシュ・フロー		△11,258	△11,603
財務活動による キャッシュ・フロー			
財務活動による キャッシュ・フロー		△11,279	19,755
現金及び現金同等物に 係る換算差額		1,072	730
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△3,157	25,194
現金及び現金同等物の 期首残高		54,309	29,115
現金及び現金同等物の 期末残高		51,152	54,309

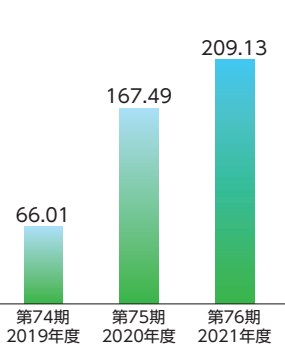
親会社株主に帰属する
当期純利益

(単位:百万円)



1株当たりの
当期純利益※

(単位:円)



※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。2019年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たりの当期純利益」を算定しています。

会社概要 (2022年3月31日現在)

商 号 太陽ホールディングス株式会社
英 文 表 記 TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
設 立 1953年9月29日
資 本 金 96億1,288万円
事 業 の 内 容 持株会社、グループ全体の経営方針策定及び経営管理
本 店 所 在 地 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
従 業 員 154名※

※上記従業員数の中には他社からの出向社員を含んでおり、
関係会社への出向社員は含んでおりません。

役 員 (2022年6月18日現在)

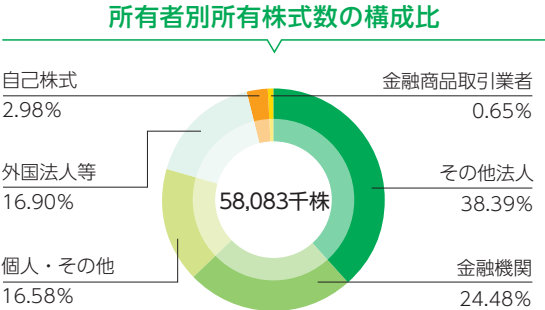
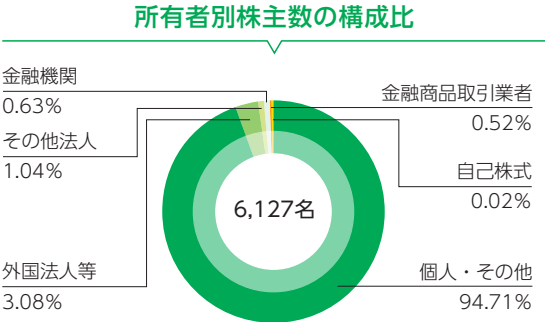
代表取締役社長	佐藤英志
代表取締役副社長	齋藤 齊
取締役	竹原 栄治
取締役	有馬 聖夫
取締役	田中 智之
社外取締役	樋爪 昌之
社外取締役	土屋 恵子
社外取締役	青山 朝子
社外取締役	鎌田 由美子
社外監査役	堺 昭 人
社外監査役	杉 浦 秀 徳
監 査 役	照 沼 かおり
社 外 監 査 役	佐 藤 郁 美

株式の状況 (2022年3月31日現在)

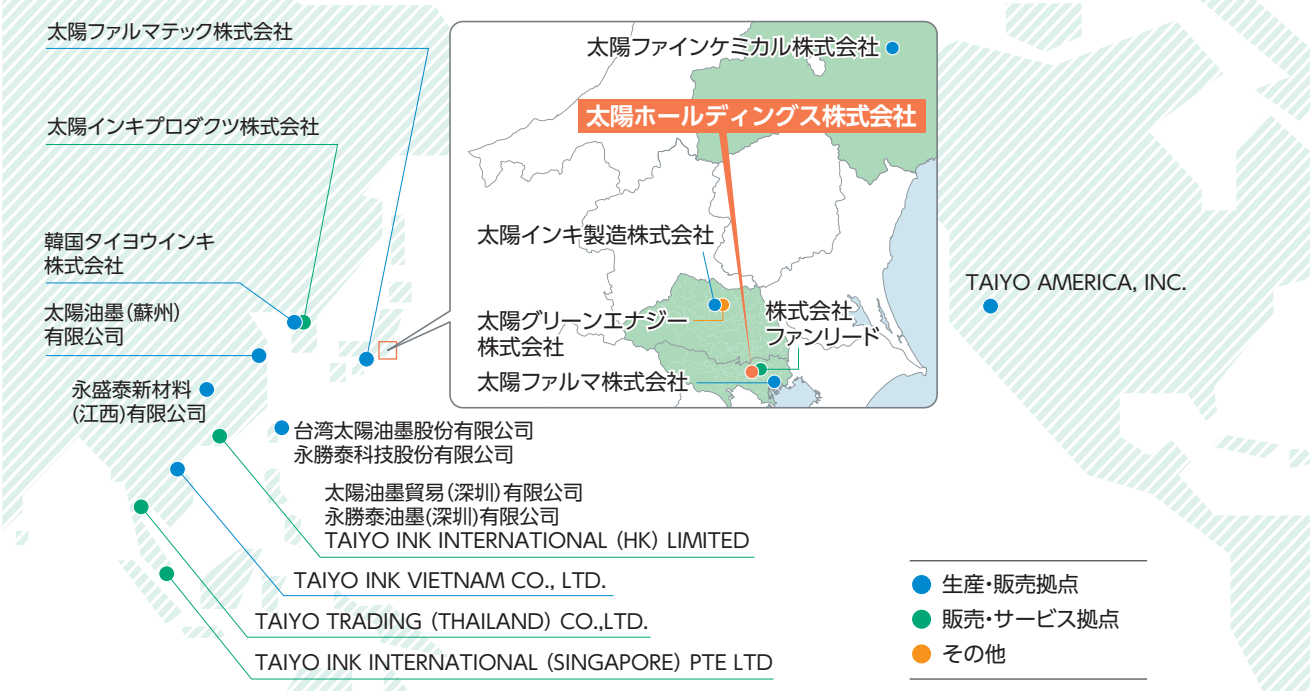
発行可能株式総数 100,000,000株
発行済株式の総数 58,083,128株
単元株式数 100株

大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
DIC株式会社	11,234	19.94
株式会社光和	7,273	12.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,165	10.94
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	3,095	5.49
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,885	5.12
株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,232	3.96
四国化成工業株式会社	1,490	2.64
東新油脂株式会社	1,077	1.91
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	1,052	1.87
川原 敬人	804	1.43



太陽ホールディングスグループ グローバルネットワーク (2022年3月31日現在)



ウェブサイトのご案内

<https://www.taiyo-hd.co.jp>

当社では、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。
ぜひアクセスしてみてください。

